

2 美しい自然を守るため、「携帯トイレ」を利用しよう!

富士山の五合目以上では、公衆トイレや山小屋のトイレが整備され、トイレに不自由することは少なくなりました。

しかし、シーズンオフや夜間には、山小屋が閉まっていてトイレが利用できない場合や、登山道によっては山小屋間が離れているためトイレに困ることもあります。また、五合目以下の散策コースなどは、途中にトイレが無いコースが多いのが現状です。

登山中やむを得ず行われる野外排泄は、自然の浄化能力を超えると、湧水・溪流の汚染、悪臭の発生、野生生物の生態系のかく乱、自然景観の悪化につながる恐れがあります。



富士山のすばらしい自然環境を守るため、富士山で登山やハイキングをする際には、いざという場合に備え、「携帯トイレ」を持参するようにしましょう。

携帯トイレとは?

【セットの一例】



- 高吸水ポリマーなどの入ったビニール袋（便袋）の中へ用を足し、し尿を凝固して処分するタイプの簡易トイレです。
- 使用後は家に持ち帰り、オムツと同様の方法で処分します。（※自治体により異なります）
- 北海道の利尻岳や富山県の立山黒部などの山岳登山時のトイレとして利用が進められているほか、車の渋滞や災害時の非常用トイレとしても普及が進んでいます。（山岳用品店や、アウトドアショップなどで購入できます。）

携帯トイレの使い方

● 便袋を広げ用を足します



● 便袋を収納袋に入れて持ち帰ります



※他に、小便専用のタイプもあります。